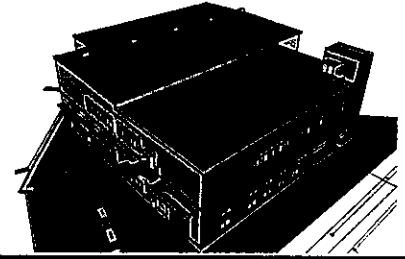


# CASBEE<sup>®</sup> 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京田辺市大住池ノ端 計画	階数	地上2F
建設地	京都府京田辺市大住池ノ端2-1の一角、410-1号、大住池ノ端ノ1-1号	構造	S造
用途地域	法22条地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2022年2月7日
敷地面積	2,925.51 m <sup>2</sup>	作成者	藤末 和巳
建築面積	1,754.53 m <sup>2</sup>	確認日	2022年2月10日
延床面積	2,691.39 m <sup>2</sup>	確認者	藤末 和巳



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.9</b> ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<p>Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3のスコア = 2.5</p>

**LR のスコア = 3.0**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 2.9</p>	<p>LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	自然採光、自然通風を積極的に取り入れ、環境に配慮し、快適な空間とする。事務エリアには、複層ガラスを構成し断熱性を高めている。	その他
Q1 室内環境	十分な階高と天井高さを確保した。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	通風に配慮し、建物の配置計画に配慮する。屋上には、緑地・太陽光パネルも設けて、従業員のコミュニティスペースとして利用する。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	自然エネルギーを積極的に取り入れるため、通風、採光に利用を行う。	
LR1 エネルギー	節水器具の採用し節水を図る。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	大気汚染防止、風害、光害などへ配慮する。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される